

若あゆ



R02.3.18 No.20

男34名 女26名 計60名

学校教育目標「夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気あふれる横田っ子」

夢いっぱい 笑顔いっぱい 元気あふれる横田っ子

新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校。子どもたちの声が響かない3月にとても違和感を感じてしまいます。予防のためにというのは、理解しているつもりでも、心のどこかで進級、そして、卒業に向けて子どもと先生方の頑張る姿をみる事ができない無念さを感じざるを得ないというのが本音です。これ以上の感染が広がらないように願うばかりです。

本日、1～5年生は、修了式を終えました。どの子どもも緊張した面持ちでしたが、凜とした表情で修了証を受け取る姿に成長した子どもたちの姿を見ることができました。子どもたちを含め、学校の教育活動に一杯応援していただいたお家の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

子どもたちと出会う2年目になりました。休み時間になるとどこからか「校長先生、一緒に遊びませんか？」の声。人なつこく素直で優しい横田の子どもたちです。わたしが赴任したときは、まだ、校庭に仮設住宅があり、外で活動できない状況でした。でも、今、子どもたちは、外で思い切り遊び、活動し、どの学年も明るく元気に過ごすことができます。わたしは、この横田の子どもたちが大好きです。60名の「夢いっぱい、笑顔いっぱい、元気あふれる横田っ子」は、この一年間で大きな成長を見せてくれました。時に友だちとけんかしたり、勉強が分からなくて困ったり、悲しい気持ちになったり・・・でも、そんなとき、隣には、友だちがいました、先生がいました、そしてお家の方、地域の方がいました。温かな笑顔に囲まれて子どもたちが、のびのびとすこやかに成長できたこと、感謝と感動でいっぱいです。

【臨時休校に伴う未履修内容について】

今回の新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休校に伴い、各学年で未履修になっている学習内容がありますが、次学年で補充指導することとなります。子どもたちに不利益が生じないよう、対応して参ります。ご理解をいただきますようお願いいたします。

明日は、いよいよ卒業式です。例年のように呼びかけや祝辞などはありません。また、式に参加する子どもたちも全校児童出席から4～6年生のみとなります。でも、心は、卒業生への感謝とエールの気持ちでいっぱいの式にしたいです。思い出されるのは、今から9年前の東日本大震災のときの卒業式後の卒業生を祝う会です。当時、わたしは、金ヶ崎町の小学校に勤めていました。卒業式が終わった後、音楽室でみんなでおにぎりをたべ、お茶を飲みながら会食し、担任の先生に子どもたちから小さい花束と感謝の言葉が贈られ、最後に、みんなで先生を胴上げして、みんなで輪になって歌を歌いました。子どもも保護者の方も、そしてわたしたち教員もみんな泣いていました。思いは、一つ。「頑張れ、そしてありがとう！」そんな、思いのこもった卒業式にできたらいいなと思っています。



子どもたちの頑張りを紹介します。

- ・第52回市内小中学校読書感想文コンクール
 - 最優秀賞1年 佐々木 柚莉
 - ※岩手県で佳作を受賞しました。
 - 優秀賞 6年 村上 慧真
 - 入選 5年 上田 美月 4年 菅野 有玖
 - 3年 小野寺 溪夏 2年 曳地 明美花
- ・感謝の言葉エッセイコンクール
 - 入選 6年 菅野 恵斗 安田 光朗
 - 5年 斎藤 香里奈 畠山 晃輔

- ・JAおおふなと組合会長旗争奪気仙地区小学生新人バレーボール交流大会
 - 優勝 下矢作VBSS
- ・スポーツ少年団交流スポーツフェスティバル長縄跳びの部 優勝 準優勝
 - 綱引きの部 第3位 横田野球スポーツ少年団

6年生と過ごした楽しい時間

右の写真は、2月に行われた全校遊びと雪が降ったある日の6年生の雪かきボランティアの様子です。本来であれば、今の時期には、あちらこちらでこういった光景が見られる時期なのですが、今、校舎内は、しーんと静まりかえったままです。でも、子どもたちがなくても各教室をよくみると、各学年が残してきた一年間の足跡が確実にあります。

「人は、人の中で成長する」とは、よく使われる言葉です。まさに横田の子どもたちの姿を見ているとその言葉通りの毎日の人との関わりで一步ずつ成長してきた一年間でした。



全校遊びの時間 いつも人気者魁さん

6年生奉仕作業

東日本大震災から9年

「語り継ぐ」「ふるさと」「未来」
わたしたちのふるさと 陸前高田 横田



あの東日本大震災から9年経ちました。3月11日に全校集会でわたしから子どもたちへ東日本大震災についてお話をしようと考えていました。ポイントは、3つです。

- ①東日本大震災の事実を世代を超えて語り継いでいくこと。
- ②ふるさと「横田」「陸前高田」のよさを感じ取り、自分の生き方につないでいくこと。
- ③自分は、自分たちは、ふるとは、どのような未来をめざすのか自分なりに考えること。

横田の子どもたちにとって「復興とは何か」を子どもたちなりに考えさせたいと思っていました。直接、子どもたちにお話はできませんでしたが、メールでもメッセージを送らせていただいたとおり、ぜひご家庭でも自分たちにとって震災とは何か、また、震災10年を迎えようとしている今、これからどのように生きていこうとするのかを考える機会を少しの時間でもいいのでとっていただきたいと思います。

※来年度から、ふるさと横田、陸前高田に関連する教育活動を復興教育の中心として取り組んでいく計画を立てています。新しい活動ではありませんが、様々な視点で子どもたちにふるさとに目を向けさせていこうとする実践です。お家の方地域の方にもいろいろご協力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

春休みを迎えます。

150日



全校児童欠席0日数です。

春休み3月20日(金)～4月6日(月)

修了式・卒業式を終えると子どもたちは、春休みを迎えますが、新型コロナウイルスの感染が収まるまでは、引き続き、手洗い、うがい、人混みを避けるなどの感染症予防に努めていただくようお願いいたします。特に「軽い風邪症状(喉の痛みだけ、咳だけ、発熱だけなど)でも外出を控えること」との通知が出されています。

春休みの暮らしについては、すでに学校よりお便りが出されています。家庭でもご確認の上、事故、けがのない休みになるよう声かけをよろしくお願いいたします。

【3月末・4月始の予定】
○今年度の離任式は、中止となります。異動する教職員の新聞発表は、3月20日(金)の予定です。※後ほど学校からもメール、お便り等で0転出入のお知らせをします。

4月 7日(火) 1学期始業式
普通登校 午前授業
8日(水) 入学式

※状況によっては、変更もあります。その場合には、メール等でお知らせします。

今年度の授業日は、1年生は、台風による臨時休校、今回の新型コロナウイルス感染拡大による臨時休校を引いて189日～191日でした。そして全員がそろって学校に来た日は、150日を超えました。昨年度は141日でしたのでさらに今年度は、無欠席児童数が増えたこととなります。3月2日から臨時休校に入り、授業日数が減ったことも考えると全員学校に登校した割合は、8割近くになります。

この150日というのは、単に子どもたちが全員がそろった日ではなく、楽しく学校生活を送ることのできた日数だとわたしは、思っています。だからこそ、子どもも、保護者も、先生も胸を張って誇れる価値ある数なのです。また、この数字は、「続ける」にプラス1した成果を見事に示してきた数でもあります。4月から、進級・進学します。今の自分を一歩成長させること、横田小学校を一歩前進させることを目指して頑張っていきましょう。

